

報道関係 各位

2016年5月29日
株式会社日本レースプロモーション

5月28日(土)～29日(日)
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 岡山国際サーキット
決勝結果速報

石浦 宏明(プロモュー/セルモ インギング)が、今期初優勝！
雨のためレースは8周で終了

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 岡山国際サーキット大会が、5月29日(日)岡山県美作市 岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)にて行なわれ、ポールポジションからスタートした石浦 宏明(プロモュー/セルモ インギング)が、今期初優勝を飾りました。2位は、塚越 広大(リアル レーシング)、3位は、伊沢 拓也(リアル レーシング)が続きました。

今大会は、雨のためセーフティーカースタートとなり、8周を終了したところで赤旗中断。その後、天候が回復せずそのまま大会終了となったことにより、8周終了時点での順位が正式結果となりました。尚、今大会で選手に与えられるポイントは、全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第7条4) (2)が適用され、通常の選手権得点の半分の選手に付与されました。

次戦は、7月16日(土)～17日(日)開催の第3戦 富士スピードウェイ大会となります。

* 記録の詳細は、添付「2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 岡山国際サーキット 決勝正式結果」をご参照ください。



今期初優勝を飾った プロモュー/セルモ インギング #1石浦 宏明

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

DAI NINKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2016全日本スーパーフォーミュラ選手権 は、11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※1)で争われ、各レースの成績に応じてドライバーとチームにポイントが付与され、ポイント合計の多い順に年間シリーズ順位が決定します。(国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名))

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P.P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、【HONDA HR-414E】または【TOYOTA R14A】(気筒配列:直列4気筒、排気量:2,000cc、燃料吸気方式:ダイレクトインジェクション)、このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより内燃機関として高効率をめざしたエンジンを搭載しています。タイヤはすべてヨコハマタイヤ製のワンメイク供給です。SF14は、世界最高峰のフォーミュラ1マシンと同等のコーナリングスピードを叩き出し、国内外トップドライバーにより白熱したドライビングバトルが繰り広げられます。

5. オーバーテイクシステム

各エンジンに装備されている燃料リストラクターを活用し、燃料供給量を増加させ一時的に約60ps(約10%)パワーを上げることにより(※1)、オーバーテイクをより促すシステムです。ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。またポイントリーダードライバーは、赤色のランプ(リーダーズレッド)を装着しています。このシステムは、スーパーフォーミュラ独自の仕組みです。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

人 気 酒 造
SINKI-ICHI

(※1)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム:オーバーテイクシステム作動時に燃料流量を10kg/h増させる
- ・効果:オーバーテイクシステム作動時に約60ps(約10%)の出力増
- ・ルール:オーバーテイクシステムは1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

燃料流量制限について

- ・鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h
- ・その他大会…燃料流量90kg/h

6. 公式予選

岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を、決められた時間内に、各チームが1周タイムのベストをめざし、ノックアウト方式でタイムアタックを行います。

ノックアウト方式とは、予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。19台エントリーの場合では、まずQ1(20分間)で15位～19位のスタート位置を決定し、10分間のインターバル後、Q2(7分間)を行い9位～14位のスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1位～8位の決勝レーススタート位置を決定します。

7. 決勝レース

岡山国際サーキットレーシングコースを68周、トータル251.804kmを走行します。

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 k m
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 k m
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 k m
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 k m
9 / 10 ~ 11	第5戦/オートポリス	ノックアウト	250 k m
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 k m
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

8. 岡山国際サーキットレーシングコースについて

2本の長いストレートと大小13のコーナーからなる、1周3.703kmのテクニカルコースです。配分よくレイアウトされたコースは、数々のバトルを生んできました。コースサイドからスタンドの距離が近く、レースの迫力をより身近に感じることができるサーキットです。

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 岡山国際サーキット エントリーリスト

(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	山田 健二	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

Asahi 朝日
SINKI-ICHI
人気酒造

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズポイントランキング

シリーズポイントランキング

ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11	9/25	10/30	
				鈴鹿 Rd.1	岡山 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	オートポリス Rd.5	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2	
1	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	13	<u>11</u>	2						
2	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	9.5	8	1.5						
3	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	8	4	4						
4	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	6	-	<u>6</u>						
5	41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	6	6	-						
6	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	5	5	-						
8	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	3	-	3						
7	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	3	3	-						
9	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	2.5	-	2.5						
10	36	アンドレ・ロットラー Andre Lotterer	2.5	2	0.5						
12	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1	-	1						
11	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1	1	-						
	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	-	-	-						
	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	-	-	-						
	4	ウィリアム・ブラー William Buller	-	-	-						
	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	-	-	-						
	20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	-	-	-						
	8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	-	-	-						
	7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	-	-	-						

* 表中ポイント数字の **太字**: 優勝 下線: 予選ポールポジション

チームポイントランキング

順位	チーム	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11	9/25	10/30	
			鈴鹿 Rd.1	岡山 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	オートポリス Rd.5	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2	
1	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュール/セルモインギング)	14.5	8	6.5						
2	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	12	10	2						
3	REAL RACING (リアルレーシング)	11	4	7						
4	DOODMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	8.5	6	2.5						
5	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	5	5	-						
6	KONDO RACING (コンドー レーシング)	3	3	-						
7	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	2.5	2	0.5						
8	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	2	1	1						
	KCMG (ケーシーエムジー)	-	-	-						
	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インパル)	-	-	-						
	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	-	-	-						

* 表中ポイント数字の **太字**: 優勝

* チームポイント: 各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

ASAHI 人気酒造

—開催概要—

- 大会名称 : 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 岡山国際サーキット
- 開催日程 : 2016年5月28日(土) 公式予選
2016年5月29日(日) 決勝レース
- オーガナイザー : 株式会社岡山国際サーキット
アイダクラブ(AC)
- 公 認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認 定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後 援 : 岡山県/美作市/岡山県観光連盟/美作国観光連盟/岡山県経済団体連絡協議会/
岡山県商工会議所連合会/岡山県経営者協会/一般社団法人岡山経済同友会/
岡山県中小企業団体中央会/岡山県商工会連合会/山陽新聞社
- 同日開催 : 2016年 全日本フォーミュラ3選手権 第5戦&第6戦
2016 N-ONE OWNER'S CUP Rd.5
GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2016 関西シリーズ第2戦
ロードスター・パーティレースIII 西日本シリーズ第1戦

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

 **YOKOHAMA**

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
©日立オートモティブシステムズ

 **J SPORTS**

SONY
Action Cam

 **ASAHI BEER**
人気酒造

【TV放映予定】

● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。
放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、
または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/、 <http://www.superformula.net/>

● BSフジ『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。
ドライバーの想いやマシンの秘密に迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。
レース翌週の金曜日に初回放送！再放送あり。

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第2戦 岡山国際サーキット5/28～29	6/3 (金) 24:00～24:55	再放送 6/5 (日) 15:00～15:55
第3戦 富士スピードウェイ7/16～17	7/22(金) 24:00～24:55	
第4戦 ツインリンクもてぎ8/20～21	8/26(金) 23:30～24:25	
第5戦 オートポリス9/10～11	9/16(金) 24:00～24:55	
第6戦 スポーツランドSUGO 9/24～25	9/30(金) 23:30～24:25	
第7戦 鈴鹿サーキット10/29～30	11/4(金) 24:00～24:55	
総集編	放送日未定	

● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送)『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。
ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。
過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。
司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第2回のゲストは、石浦宏明、脇阪寿一。放送日は6/3(金)22:00～22:30。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/

● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベート
を徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。

小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして
乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第2回のゲストは、中嶋一貴。放送日は、5/15(日)26:35～27:05)。

5/23(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始！

今シーズンから各戦の英語版 52 分ハイライト番組が 121 カ国にて放送されることになりました。この時点で
確定している視聴可能世帯数は約 3500 万、ニュースのみの露出を加えると 182 カ国でスーパーフォーミュラ

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

SHINJI-ICHI
人気酒造

の映像が流れます。

【映像の配信】

● GYAO!

大会終了10日以降に、スーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信します。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

● YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信します。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」

もしくは「YouTube」本サイトでご確認ください。

<http://www.superformula.net/> <https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

● FOD(フジテレビオンデマンド)

フジテレビで放映中の『超速GO音』を、放送日の8日後から無料配信します。

<http://fod.fujitv.co.jp/s/genre/sports>

【インターネット／SNS】

● スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト

<http://superformula.net>

● スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook

<https://www.facebook.com/superformula.official>

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション 広報部

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0131 e-mail:media@jrp-inc.net

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

 **YOKOHAMA**

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

 **J SPORTS**

SONY
Action Cam

 **ASAHI**
SINKI-ICHI
人気酒造



Series Partner



Series Supporter



Promotion Partner





2016 Japanese SUPER FORMULA 5.28 SAT 29 SUN
 Championship Series ROUND 2 OKAYAMA International Circuit



2016 Japanese SUPER FORMULA Championship Series Round 2

全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦

決勝 正式結果

スタート時間 : 15:00:00

主催 : 株式会社岡山国際サーキット/アイダ'クラブ' (AC)

2016.05.29 発表 16:50

天候 : 雨

コース状況 : ウエット

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	1	石浦 宏明	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	8	22'06.947	80.370		2'38.287	6
2	10	塚越 広大	Honda HR-414E	REAL SF14	8	22'07.665	80.326	0.718	2'36.125	6
3	11	伊沢 拓也	Honda HR-414E	REAL SF14	8	22'08.696	80.264	1.749	2'35.909	6
4	40	野尻 智紀	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	8	22'09.472	80.217	2.525	2'35.691	6
5	16	山本 尚貴	Honda HR-414E	TEAM MUGEN SF14	8	22'10.788	80.138	3.841	2'35.385	6
6	2	国本 雄資	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	8	22'12.355	80.044	5.408	2'34.747	6
7	64	中嶋 大祐	Honda HR-414E	NAKAJIMA RACING SF14	8	22'13.389	79.981	6.442	2'33.687	6
8	36	Andre Lotterer	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	8	22'15.316	79.866	8.369	2'34.007	6
9	3	James Rossiter	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	8	22'16.624	79.788	9.677	2'33.957	6
10	18	中山 雄一	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	8	22'17.700	79.724	10.753	2'34.200	6
11	4	William Buller	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	8	22'19.135	79.638	12.188	2'35.959	6
12	41	Stoffel Vandoorne	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M41S SF14	8	22'21.080	79.523	14.133	2'28.906	4
13	20	関口 雄飛	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	8	22'24.035	79.348	17.088	2'34.183	5
14	65	Bertrand Baguette	Honda HR-414E	NAKAJIMA RACING SF14	8	22'24.623	79.313	17.676	2'34.096	5
15	34	小暮 卓史	Honda HR-414E	DRAGO CORSE SF14	8	22'26.512	79.202	19.565	2'27.543	5
16	7	Narain Karthikeyan	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	8	22'27.543	79.141	20.596	2'26.149	5
17	37	中嶋 一貴	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	8	22'28.378	79.092	21.431	2'35.247	7
18	8	小林 可夢偉	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	8	22'32.335	78.861	25.388	2'10.960	7
19	19	Joao Paulo de Oliveira	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	5	14'07.551	78.643	3 Laps	2'39.975	5

本決勝レースは、国際モータースポーツ競技規則 付則H項 第2章 2.9.1 を適用、セーフティスタートとし8周回導入した。

本決勝レースは、荒天の為、開始後23分24秒で赤旗提示にて中断。天候回復が見込めない為、本決勝レースを終了とした。

参加台数 : 19台 出走台数 : 19台

ベストラップ : 8 小林 可夢偉 2'10.960 7/8 101.793km/h

審査委員長 : TAKASHI MITARASHI

大会競技長 : MASASHIRO USUKI

計時委員長 : SHIGEKI TERAO



OKAYAMA International Circuit
 岡山国際サーキット